

事業所名

サポートセンターおひさまの花
(放課後等デイサービス)

支援プログラム (参考様式)

作成日

7年

3月

1日

法人(事業所)理念		地域とつながりを持ち人々とふれあい交流し、様々な活動を通して経験の幅を広げ社会性をはぐくむ支援										
支援方針		自然環境を活かしたプログラム活動やお友達と遊ぶことを通して、子ども達が楽しく安心して笑顔で過ごせる場所となるように										
営業時間		12	時	00	分から	18	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 衣服の調節、室温の調節や換気、病気の予防や安全への配慮する。 子どもが食事、排泄、衣類の脱着等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。 生活の中で、様々な遊びや体験を通じた学びが促進されるよう環境を整える。										
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 子どもの発達段階及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるような遊びを通して支援する。 保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう眼鏡や補聴器等の各種の補助機器を活用できるよう支援する。										
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促すために制作活動や身体遊びを学習プログラムとして取り入れる。 食事や衣服の脱着等日常生活での活動を通じて、子どもの発達段階に応じた数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための具体的な働きかけを日常生活の中で行う。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害に対して事前に環境調整など予防策を講じ、適切行動の獲得に向けた適切な支援を行う。										
	言語 コミュニケーション	子どもの発達段階に応じた話し言葉や各種の文字・記号を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする等、言語を受容し表出する支援を行う。 子どもの発達段階に対応するコミュニケーション手段(指差し、身振り、サイン等)を選定し、環境の理解と医師の伝達ができる機会を積み重ねていけるように環境及び関わり方の調整を実施する。 障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。										
	人間関係 社会性	遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを促していく環境調整並びに関りを実践する。 発達段階に応じた支援者の関わり方を提案し、一人遊びの状態から並行遊び、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びといったスモールステップでの遊びの育ちを促し社会性の発達を支援する。										
家族支援		・子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整 ・子育て上の課題の聞き取りと必要な助言				移行支援			・家族への情報提供や移行先での環境調整 ・移行先との援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達 ・併行利用の場合は、利用日数や時間などの調整			
地域支援・地域連携		・教育機関の関係者との連携 ・個別のケース検討の為に会議への出席				職員の質の向上			・様々な研修会への参加			
主な行事等		・地域のスーパーへの買い物外出やおやつ作り ・節分やハロウィン、流しそうめん、焼き芋、お餅つきなど季節感のあるイベントや野外活動イベント等の開催 ・定期的な音楽イベントや近郊への外出										